

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	青葉山公園の一部(追廻地区、竜ノ口地区)	
2 指定管理者	青葉山エリアマネジメント	
3 指定期間	令和5年4月1日～令和15年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和5年度 252,011人 ※令和5年度開設 ※全国都市緑化仙台フェア期間中の利用者数を除く ※利用者カウントは仙臺緑彩館利用者数 ※カウント開始は6月22日から実施	
	《事業》 ・公園管理 ・仙臺緑彩館や残月亭等の施設管理 ・ワークショップやイベント等の企画、運営 ・公園活動団体の活動に対する支援、調整	
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 188,556千円 ( - 千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 ( - 千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 4,180千円 ( - 千円) ・ その他収入 0千円 ( - 千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 公園施設として、仙臺緑彩館内にご意見箱を設置し、お客様ニーズの把握に努めており、毎月の定例会において仙台市担当課へ報告。(R5年度27件) その他、グループインタビューとして、ペット利用者を対象にした調査を2月と3月の2回に分けて実施。	

## 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	施設の設置目的を十分に理解し、管理運営に反映させている。	24/24
II 施設の運営管理体制	自然災害・事故等に対応できるよう、マニュアルの整備や訓練を行うなど、安全な運営管理体制を構築している。	29/29
III 施設・設備の維持管理	仙臺緑彩館等における設備の保守、清掃等は適切にされている。また、園内の修景施設について、適切な管理により、美観を維持している。	24/24
IV サービスの質の向上	見学者に対する独自の案内資料を作成し、公園の利用促進に努めている。また、外国語に対応できる職員を配置するなど、観光客に対する窓口対応や、写真や図などを使用したパンフレットの作成も行われている。	28/28
V 施設固有の基準	公園内には、仙台市指定有形文化財の「残月亭」があり、適正な管理により、美観を維持している。また、自主事業として、歴史的・文化性や環境を活かした魅力的なイベントを実施しており、公園の利用促進に努めている。	4/4

### 三 評価総括

《指定管理者（青葉山エリアマネジメント）による自己評価》
<p>青葉山公園の一部(追廻地区・竜ノ口地区)の指定管理業務は、令和5年度4月よりはじまり、4月から6月にかけては、全国都市緑化仙台フェアの会場にもなり、指定管理としては7月から本格運用となった。また公園内においては、順次芝生広場がオープンしていき、最終的にはR6年度に全園開園となるため、全園開園へ向けた準備を進めているところである。</p> <p>公園施設の管理運営にあたっては、仙台市担当課と定期的に会議を行い、公園の利用ルールづくりをはじめ、初めての事案への対応、課題など、情報共有を図りながら、1年目として安定的に管理運営が行えた。また、企画提案書掲載事項においても、夏以降に積極的に取り組んだことで、当初計画を上回る成果を出すことができた。</p> <p>ただし、指定管理業務開始の1年目、2年目は今後の公園施設の管理運営を、安定的に進めていく上での【基盤づくり期間】として捉えており、仙台市の各部署との連携強化を図るとともに、施設利用者へ対するサービスや企画、施設管理などの充実に引き続き努めていきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>青葉山エリアの「入り口」ともいべき立地特性を踏まえ、周辺施設等の関係団体、市民活動団体等と連携し、歴史性・文化性や環境を活かした自主事業を積極的に実施するとともに、各種媒体への情報提供や広告掲出による広報を行い、市民や観光客等の集客につながる取り組みを行っている。</p> <p>第40回全国都市緑化仙台フェアの開催にあたっては、準備や撤去工事も含め、必要な連携・協力を行ったほか、仙台七夕花火祭などの大規模催事においても必要な調整を行い、公園の利活用推進を図っている。</p> <p>また、仙臺緑彩館等における設備の保守、清掃等は適切に実施され、園内の修景施設についても、適切な維持管理により、美観を維持している。</p>	S

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

© 評価担当課(施設所管課):建設局百年の杜推進部公園管理課